

全体論議

この段階での議論は、参加者が被害の様相を正しく認識しているかどうかを、参加者同士で確認することが求められます。ポイントは次のようなものが考えられます。

被害の大きい地域に、防災・災害救援に関わる施設はないか。

避難所・警察署・医療機関・消防署・公共施設等の施設が、浸水予想地域やがけ崩れ想定地域にありますか？

道が寸断されることはないか。

冠水・落橋・斜面崩壊・建物の倒壊等で、交通の要所が寸断されてしまう可能性はありませんか？寸断されると孤立地帯が出来てしまいます。

津波がくると

地震災害で津波が堤防を破壊し押し寄せた時、津波の到達時間や最大津波高などはどうなっていますか？

今後何も対策をしないままでいると、災害発生時には地図上の被害が現実のものとなる可能性が高いです。被害様相に対して、どのような対策が必要なのでしょう。その対策でどこまで対応できるのか。災害発生後の対策で対応できない部分は、あらかじめ被害を少なくする、すなわち減災に取り組む強い地域をつくるにはどうしたらよいのか。

